

◇-----◇  
下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2012. 4. 16

下水道機構の『新技術情報』 第 42 号

(財) 下水道新技術推進機構 <http://www.jiwet.or.jp/>

◇-----◇

あつという間に桜は散ってしまいましたが、機構の前を流れる神田川は桜の花びらの絨毯のように。最後まで美しい桜でした。ちなみにこのように桜の花びらが散って水面を流れる様子を「花筏（はないかだ）」というそうです。先週は名古屋の読者の方から、桜の写真をいただきました。名古屋の桜もとても綺麗でした♪

さて、今週も機構メールマガジン『新技術情報』第 42 号をお届けします。  
業務に Tea Break にどうぞご活用ください。

■□■□トピックス□■□■

★インフォメーション

- ・ 4 月 12 日、東京都下水道局の巖岩（ほろいわ）計画課長をお迎えして、「東京の高度防災都市づくりに向けた新たな取組」をテーマに技術サロンを開催しました！
- ・ 4 月 1 日付、ニューフェースの職員さんから自己紹介をお届けします！【第 2 弾】
- ・ 人事異動、組織変更、退職に伴う Web 登録の変更手続きについて

★機構の動き

- ・ 今週は、本日 4/16(月)国交省にて開催される平成 24 年度全国下水道主管課長会議へ当機構の各部長が出席します

★Tea Break

- ・ 水の浄化技術とアウトドア（技術評価部 尾上さんからの投稿です）

★みなさまからのコラム

- ・ 掲載情報募集中！

機構の新技術情報でお伝えしたい情報をお持ちの方は本コラムをご活用ください。  
情報提供はこちらまで→ [jiwet@jiwet.or.jp](mailto:jiwet@jiwet.or.jp)

★国からの情報

- ・ 4 月 13 日付け下水道ホットインフォメーションです
- 

インフォメーション（最新の話です）

.....

●4月12日、東京都下水道局の巖岩（ほろいわ）計画課長をお迎えして、「東京の高度防災都市づくりに向けた新たな取組」をテーマに技術サロンを開催しました！

今回は、今年度一回目のサロン。会場は参加者多数！椅子だけの配席となりました。前日にはインドネシア・スマトラ島で再び強い地震が発生し、日本でも災害への備えの認識がより強まった中でした。巖岩課長から東京という大都市での先進的な取り組みをご紹介いただきました。

東京都では、次期経営計画の策定に向けて、様々な検討等が進められているそうです。その検討におけるキーワードの一つは、「スピードアップ」！再構築、浸水対策、耐震・耐水対策、合流改善、地球温暖化対策等々、東京都という大都市で膨大な資産を抱える中、これらを適切に管理し、最大限活用していくためには、より柔軟な発想が必要です。それを先進地として試行錯誤しながら進められていると感じた時間でした。「あっと驚く施策を」とのお話もありましたので、皆様、東京都の次期経営計画に期待しましょう。なお、今回の資料については、次回サロン開催後に専用サイトに掲載します。

さて、次回技術サロンは5月10日木曜日の17:00からの1時間。ゲストには国土交通省国土技術政策総合研究所下水道研究室長の横田敏宏様をお迎えし、「下水道管渠の液状化被害とその対策」をテーマに江戸川橋の当機構会議室にて開催します。皆様多数のご参加をお待ちしております！参加申し込みは機構ホームページから。

→ <http://www.jiwet.jp/school/school-07-304.htm>

また、前回3月の技術サロン、日本下水道事業団技術戦略部の野村部長の資料を専用サイト登録者のページに掲載しました。

登録者は、これまでのサロンの資料がご覧いただけます。

公共団体等の方→ <https://www.jiwet.jp/members/gov/>

出捐団体等の方→ <https://www.jiwet.jp/members/support/>

●前号に引き続き4月1日付、ニューフェースの職員さんから自己紹介をお届けします！

今回は、研究第一部の坂部さんと研究第二部の城間さんから自己紹介メッセージをいただいています。

=====

【研究第一部副部長 坂部 泰理さんからのメッセージ】

（財）下水道新技術推進機構研究第一部副部長の坂部です。名古屋市上下水道局下水道計画課から参りました。これまでに、水処理センター、ポンプ所の設備の設計をはじめ現場での維持管理、下水道計画の策定などの業務を経験してきました。つい最近まで、膜分離活性汚泥法（以下、MBRという）の調査研究にも関わっていました。

A-JUMPに参加するとともに、A-JUMP終了後も引き続き、高度処理型MBRの実証実験を継続しています。MBR技術は、国内外での水環境の向上、下水再生水の有効活用や国際的な水ビジネスの展開にも適用できる技術として、大いに期待されており、その調査研究に携われたことは、貴重な経験となりました。

4月から下水道新技術推進機構の一員となり、新技術の橋渡しに少しでもお役に立てるように努めてまいりたいと思っております。不慣れなこともあり不安もありますが、精一杯頑張っておりますので、今後ともよろしくお願いたします。

=====

#### 【研究第二部副部長 城間菊次さんからのメッセージ】

横浜市環境創造局から下水道新技術推進機構研究第二部に派遣されました城間です。

家は鶴見で、生まれたときからずっと鶴見に住んでいます。また、学校も高校まで鶴見区内の公立学校で、大学だけが保土ヶ谷区にある横浜国立大学です。すなわち、今まで横浜から一歩も外に出たことがないのです。この4月から東京通勤となり、東京デビューができ、大変喜んでおります。心配していた通勤ラッシュも思ったほど混んでおらず、有楽町線は座ってこれました。推進機構の仕事は、多くの自治体の方々や民間の方々との接点があり、新技術の普及や推進など、新しい人との出会いや新しい技術との出会いなど魅力がいっぱいです。がんばって、悔いのない仕事をしたいと考えておりますので、よろしくお願いたします。

#### ●人事異動、組織変更、退職に伴うWeb登録の変更手続きについて

人事異動、組織変更、退職等によりメールアドレスの変更や専用サイト登録の抹消などWeb登録を変更する必要がある場合には、お手数をお掛けしますが、下記の手続きをお願いいたします。

##### (1)メールアドレスの変更

・ご本人のメールアドレスが変更となる場合は、ご登録種別(メルマガ、専用サイト)及びアドレス(新・旧)をメールでご連絡下さい。

こちらから→ [jiwet@jiwet.or.jp](mailto:jiwet@jiwet.or.jp)

##### (2)メルマガ配信停止

・メルマガ会員の方は、当機構ホームページ(TOP)で「メールマガジン配信解除」をクリックし、手続きをお願いいたします。

##### (3)専用サイト登録の抹消

・専用サイト(公共団体、出捐団体等)にご登録いただいている方で、退職される方、または、専用サイト登録の抹消をご希望される方は、専用サイトログイン後、「退会手続き」をクリックし、手続きをお願いいたします。なお、退会後も引き続きメルマガの配信は可能です。メルマガをご希望される場合は、専用サイト退会后、当機構ホームページ(TOP)で「メールマガジン新規登録」をクリックし、手続きをお願

いたします。

※(2)、(3)について、メールでご連絡いただくことも可能です。

こちらから→ [jiwet@jiwet.or.jp](mailto:jiwet@jiwet.or.jp)

---

機構の動き (機構の行事予定です)

---

●4月26日(木) 15:00~17:00(場所:横須賀市役所)

平成24年度 第1回 横須賀市下水処理場等の津波対策基本計画に関する  
検討委員会

★4月16日(月) 14:30~17:00

(場所:中央合同庁舎3号館 国土交通省10階共用大会議室)

平成24年度全国下水道主管課長会議

当機構、各部長が出席します。

---

Tea Break (機構職員の感じるまま)

---

●水の浄化技術とアウトドア (技術評価部 尾上さんからの投稿です)

早いもので、機構へ着任してから3年目を迎えております。1年目は右往左往で過ぎ去って、ようやくコツが掴めてきた2年目、少々の気持ちの余裕が生まれてきたところで、かねてからの趣味、アウトドアを再開しました。

川原や草原でのBBQやキャンプ、フライフィッシング等、もともと私がこの仕事「下水道」を選ぶに至った「きっかけ」がそこには存在します。例えば「きれいな川面」はなぜ「きれい」なのか。フライフィッシングに使う「フライ」は、その川の魚が食べているだろう生物(昆虫)を模試したものを使用する等、「その川にはどんな生物がいて、どうきれいに保たれているのか」を考えるようになり、水が浄化される仕組みを知ったその先に、現在の私たちの仕事、「下水道の世界」がありました。

そんな知識を持った上で、自然の中過ごすひとは格別なものがあります。愛車で山道をドライブし、たどり着いた川原でテントを張る。お気に入りの音楽をかけて、炭火を起こして食事を作る。美味しそうですね?皆さんも、積極的に自然に繰り出してみませんか。

---

みなさまのコラム (皆様からお寄せいただいた情報です)

---

●掲載情報募集中!

機構の新技术情報でお伝えしたい情報をお持ちの方は本コラムをご活用ください。  
情報提供はこちらまで→ [jiwet@jiwet.or.jp](mailto:jiwet@jiwet.or.jp)



望ましい汚水処理のあり方について検討を行う目的で、国土交通省、農林水産省、環境省の関係3省の政務官により、「今後の汚水処理のあり方に関する検討会」を平成22年4月19日に設置し、これまでに6回の検討会を開催して議論を重ねてきたところですが、このたび、検討結果を「中間とりまとめ」として公表しました。

[http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo13\\_hh\\_000162.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo13_hh_000162.html)

●世界一大きなアートのトイレが完成～千葉縣市原市

市原市在住のホットインフォメーション読者の方からご紹介を受けました。

自然豊かな南市原に位置する小湊鉄道飯給（いたぶ）駅前に世界一大きなアートのトイレがお目見えしたとのこと。世界的な建築家、藤本壮介氏の設計によるもので、全面ガラス張りという大胆なデザインとなっています。一人用の女子トイレと多目的トイレがありますが、特に女子トイレは、外壁を黒く塗装した高さ2mの杉板675本で外周53mの楕円の囲いを造り、その中に草原と見立てた空間を創出し、中心部に透明なガラス張りの個室トイレを設置するものとなっています。是非、現地にて実物をご覧いただければと思います。

[http://www.jiji.com/jc/c?g=soc\\_30&k=2012041000158](http://www.jiji.com/jc/c?g=soc_30&k=2012041000158)

なお、金曜夜のNHKの情報番組「情報LIVEただいま！」（4月13日スタート、金曜・後10時）で取り上げられるそうです。

また、「水の創造第79号」（日本下水道協会発行）にも取り上げられています。

=====

【参考情報】

◆カラーマンホール:春の観光シーズン前にお化粧直し 函館 <4/5 毎日新聞>

<http://mainichi.jp/select/news/20120405mog00m040006000c.html>

◆日立、水事業強化へ 東南アジア・中東で計画 <4/5 朝日新聞>

<http://www.asahi.com/business/update/0404/TKY201204030788.html>

◆下水汚泥エコに処理 長崎 <4/6 読売新聞>

<http://www.yomiuri.co.jp/e-japan/nagasaki/news/20120406-OYT8T00093.htm>

◆海守る地底の大空間 海底トンネル延長 西宮 <4/6 神戸新聞>

<http://www.kobe-np.co.jp/news/shakai/0004950276.shtml>

◆震災がれき「受け入れ困難」 福岡市、環境相に回答書 <4/7 MSN 産経ニュース>

<http://sankei.jp.msn.com/region/news/120407/fkk12040702110001-n1.htm>

◆生ゴミ、屍肉、下水から食用油...中国の食を脅かす「闇リサイクル」 <4/8 MSN 産経ニュース>

<http://sankei.jp.msn.com/world/news/120408/chn12040818000003-n1.htm>

◆水ビジネス国内拠点に 国が北九州市を認定 <4/12 朝日新聞>

[http://mytown.asahi.com/fukuoka/news.php?k\\_id=41000001204120005](http://mytown.asahi.com/fukuoka/news.php?k_id=41000001204120005)

=====

(あとがき)

昨晚、課の歓迎会が行われましたが、下水道式バンザイの引き継ぎが行われました。引き継ぎ者(?)から投稿がありましたので、ご紹介します。

#### ■下水道式バンザイのすすめ

年度初めとなり、皆様の部署でも歓迎会が開催されていることと思います。

一般的に会の締めは手拍子か万歳が行われていると思います。

世の中にダム式バンザイというものがあると聞いて、下水道式バンザイもあればいいのにと思ったのが昨年度のこと。現在、下水道部で密かに下水道式バンザイがはやっております。以下にやり方を簡単に示しますので一度ご活用ください。

下水道式バンザイのやりかた

##### 1. 立ち方(足の位置)

・下水道は基礎が大事。腰をおとし、しっかりと大地を踏みしめます。足は肩幅です。

##### 2. イメージ

・適切な下水道式バンザイの型を行うために、目の前に直径50cm程度の下水管(もちろん継ぎ手付き)が直立しているイメージをしてください。

##### 3. バンザイ

・イメージした下水管にそって手をあげていきます。「バンッ」で継ぎ手の位置まで一気に手を上げます。

・「ザーイ」で継ぎ手部にそって手を若干外にずらす感じでさらに手を上げていきます。

・これを3回繰り返す

～ 以上、国からの下水道ホットインフォメーションより～



発行元：財団法人 下水道新技術推進機構 企画部  
〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル7F  
TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<http://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えしたい情報をお持ちの方はこちらから→ [jiwet@jiwet.or.jp](mailto:jiwet@jiwet.or.jp)

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから→ [jiwet@jiwet.or.jp](mailto:jiwet@jiwet.or.jp)

○ニューズレターはこちらから → <http://www.jiwet.jp/newsletter/20120229/>

○コラムの正解はこちらから

→ <http://www.jiwet.jp/newsletter/20120229/seikai2.pdf>

